

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (四国)		美容室（経営者）	来客数の動き	・3月は卒業シーズンなのでかなりの客が動いている。この時期はパーマ、カラーなどの単価の高いメニューが出るので売上が増加する。
		商店街（代表者）	それ以外	・中心市街地活性化基本計画が国の認定を受けたため、官民一体となった街づくりが進んでいくことが予想され、消費者に対しても、中心市街地に対するマインドが上昇してきているように思う。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・大口の件数が前年に比べて増えている。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・月初は天候不順の影響で、来客数が減少し、苦戦気味であったが、今は回復し、トータルして少し上向きである。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・客数、客単価共に前年を上回っている。
		コンビニ（商品担当）	販売量の動き	・4月から値上げされる商品群の駆け込み需要を取り込んでいる。また、気温上昇と天候が良かったため、冷たい飲料等の販売が良くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今月は天候に恵まれたため、春物の売行きが非常に好調で、客単価も上昇している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・最需要期である3月にしては新規客は少ないが、買換え需要もあり軽自動車の売上が前年を上回っている。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・前年に比べて販売量は減少しておらず、売上は僅かながら前年を上回る実績で推移している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・春になり、遍路客が多少増えてきた。また、異動の時期で、夜の街も活気が出ているような気がする。
		通信会社（営業部長）	販売量の動き	・販売数が25%増加した。
		通信会社（技術）	販売量の動き	・当社における利益率の高いサービスの販売量が伸びている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業シーズンで来客数が多い。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・客数の推移も売上状況も前年と変わらず、地方経済の景気は良くなっているように感じられない。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・気温の上昇や好天に恵まれたため、春物や初夏衣料、季節商材の動きは良い。しかし、中所得者層は余り出費を伴わない娯楽やレジャーを楽しみ、モノに対する執着や憧れを抱かない生活を心掛けている。富裕層に支えられて好調に推移してきた高額品やラグジュアリーブランド需要が萎縮しないか心配している。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	お客様の様子	・来店客の多くが目的を持って購入しており、必要のないものを購入することは減多にない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・卒業、送別関連商品の販売数は例年どおり変化なかったが、仕入値が高値のままなので、前年と同じ商品を作るのに苦労した。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・もう落ちるところまで落ちたという感じ。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・売上の低迷状態が続いており、客も必要な物しか購入しない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・気温上昇に支えられ衣料品の売上は好調であったが、12月から高額品が低迷し、前年5月にオープンした大型ショッピングセンターの影響により食品の不振が継続している。
	百貨店（販売促進）	来客数の動き	・インバウンドや全体の来客数は増加傾向であるが、ファッション衣料系は苦戦している。	
	百貨店（営業統括担当）	販売量の動き	・月を通して全館の動員に苦戦し、衣料品等の春物需要の拡大には至らず、特選ブランドや化粧品のみ売上は堅調に推移した。	
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・青果物の価格は落ち着き始めているが高値であることに変わりはないため、客数に対して売上が上回る状況である。他の商品の値上げもあり、この状況は続くであろう。	

	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・3か月前と比べても状況はあまり変わっていない。地方の景気回復にはまだまだ厳しい状況である。来客数が減少し、客単価も上昇しないというのが今の状況である。
	家電量販店(副 店長)	単価の動き	・シングル家電需要について、前年に比べて販売件数は増加したが、客単価が減少している。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・今月も新車の受注状況は前年並みで推移している。
	その他小売 [ショッピング センター](副 支配人)	来客数の動き	・来店客数は雑貨やサービスの分野は増加傾向にあるが、衣料品では低迷している。
	観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・1~3月の客は多かった。地元旅館の建て替え問題もあるが、客数は増加している状態である。
	都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・単価の変動幅が少ないので、なかなか景気が良くなっているという実感がつかめない。宿泊客をみると、個人客の利用はそれなりにあるが、団体客が減少してきている。これは今だけのトレンドなのかもしれないが、気掛かりである。
	通信会社(支店 長)	販売量の動き	・商戦期であるが、大きな動きが感じられない。
	設計事務所(所 長)	単価の動き	・相変わらず、建築の単価は高止まりのままである。
	商店街(代表 者)	それ以外	・国会では国内経済政策も米中貿易摩擦による株式市場の混乱もほとんど議論されず、国有地売却関連ばかりでうんざりしている。
	スーパー(店 長)	販売量の動き	・青果の相場が3か月前と比べて随分と落ち着き、単価が下落している。全体的に購入点数が低下しており、売上の伸びは鈍化している。
	スーパー(財務 担当)	来客数の動き	・業態を超えて競争が激化しているなか、客数が減少しており単価の上昇では補えていない。
	コンビニ(総 務)	来客数の動き	・前年比の客数が回復せず徐々に悪化している。
	衣料品専門店 (営業責任者)	販売量の動き	・気温が上昇し、春物商材が動き出してはいるが、前年を下回って推移しており、売上は非常に厳しい。来客数・客単価共に減少している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・12月と比べるとやや悪くなっている。しかし、例年の1~3月の中では、売上、乗車人数、回数が良くなっている。
	競輪競馬(マ ネージャー)	来客数の動き	・12月のボーナスシーズンを考慮すれば、売上高は全体的に同水準に推移しているといえる。しかしながら、客足は全体の利用者数の推移や、レース場への来場者の状況から見て減少傾向になっている。
	x コンビニ(店 長)	来客数の動き	・気温が思ったほど上昇せず、人の動きが鈍かったと感じている。また、春分の日前後の雨もたたり客数・売上共に前年比を割り込んだ。
企業 動向 関連 (四国)	-	-	-
	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・1~2月は低調であり受注も活発でなかったが、3月に入り少しずつ活発化してきた。受注も着実に増えてきたように思う。
	鉄鋼業(総務部 長)	受注量や販売量 の動き	・主力造船関連の受注が増加傾向。
	輸送業(経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・暖かくなり、気分的にも良くなっている。
	金融業(副支店 長)	取引先の様子	・取引先企業の決算書や試算表からみるに、業種別に差はみられるものの、総じて足元の業績は安定から回復傾向にある企業が多い印象を受ける。
	電気機械器具製 造業(経理)	受注量や販売量 の動き	・販売量において製品別に多少の増減はあるものの、3か月前と比べて全体的には大きな変化は見られない。
	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・多少、工事も受注できたが、まだまだ不十分。
	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・年度末の時期は、納品による入金が集まる時期であり、今年度も例年どおり好況である。しかし、これは季節要因であるため、中長期的にみると変わらない。
	輸送業(支店 長)	受注量や販売量 の動き	・引越越し商戦期のため、一時的に物流が増えているが、通常貨物に波及はしていない。

	輸送業（営業）	競争相手の様子	・年度末に繁忙期を迎える引越しいにおいては、労働力不足や輸送車両不足を理由に、客からの発注を断る同業者も出てきている。また、商業貨物が大半である小口積合せにおいては、運賃値上げ交渉の決裂を受け貨物の連絡運輸中継に関わる業務提携を3月末で解除する同業者も出てきている。連絡運輸中継は業者の生命線であり、本来は簡単に解除できるようなものではなく、景気の低迷の影響を強く感じる。	
	公認会計士	取引先の様子	・今月の各法人の決算書、あるいは試算表を前年と比べてみると、ほとんどの企業があまり変わらない。一部、インバウンドの効果を得ている企業については改善されているようだが、その他の企業については変わらないという状況である。	
	農林水産業（職員）	取引先の様子	・卸売会社は年度末を迎えているが、その平均的な年間取扱高は、前年比95～98%程度が予想され、前年を下回る見込み。また、その数字以上に利益率は下がっており、赤字決算の会社が出ることも想定される。一方、生産農家の方も厳しく、いい人と悪い人の格差が広がる傾向が顕著に出た年といえる。	
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1～2月は寒さと降雪の影響で、北日本では小売店の売上が良くなかったが、3月に入り少し良くなっている。しかし、小売店の優劣がついてきており、全体としてはあまり芳しくない。	
	木材木製品製造業（資材購買）	受注量や販売量の動き	・例年の年度末ほどの駆け込み感はない。職人不足の影響や原材料価格の割高感により、取引先も急がずに進めている印象あり。	
	化学工業（所長）	受注価格や販売価格の動き	・原料価格高騰により製品価格の転嫁を進めているが客の反応が悪く苦戦している。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電気機械製造業を営んでいるが、非常に厳しい環境である。太陽光発電設備は大変な価格競争にさらされている。	
	通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・テレビスポットCMの料金が下落傾向にある。	
	x	-	-	
雇用 関連 (四国)	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・大規模コールセンターの求人が増加している。案件が全国から地方に集約してきている状況。	
	職業安定所（職員）	それ以外	・2月の有効求人倍率は1.62倍で、3か月前と比べて0.07ポイント上昇している。	
	人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・人材不足である業種はいまだに求人活動が落ち着きを持たないが、人材の効率化や内部体制の改善により、何とか取り組んでいる状況。派遣会社への登録スタッフも3か月前から変わりなく、厳しい登録状況は続いている。	
	求人情報誌（営業）	採用者数の動き	・県内各社の雇用状況をみると、人手不足の企業が多い。これに加え、働き方改革等による社員への残業規制等により、売上・利益確保等で伸び悩む企業が多い。	
	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・年度末の挨拶で企業訪問を実施しているが、中小企業においては、年度の採用数を充足できた企業は少なく、引き続き求人を出している。採用に関しては、年間を通して採用活動を行っている企業が多いように思う。	
		-	-	-
	x	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・募集会などを行っても求職者がいない。